



洋上アルプス

No.256 平成28年7月5日

発行
林野庁屋久島森林生態系保全センター



バックナンバーや屋久島国有林における入林許可申請等様式のダウンロードはこちらにあります

http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/yakusima_hozen_c/



鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦1577-1

TEL0997-42-0331 FAX0997-42-0333



平成28年度 屋久島世界遺産連絡会議幹事会(第1回)開催 (6月22日)



会議の様子

平成28年度世界遺産地域連絡会幹事会(第1回)が、鹿児島市の鹿児島地域振興局5F会議室において開催されました。

会議では、①屋久島世界遺産地域における平成27年度の事業報告と平成28年度事業計画、及び世界遺産地域管理計画に基づく事業実績と平成28年度事業予定について各機関から説明。②平成28年度第1回屋久島世界遺産地域科学委員会の開催については、今年度の事務局である九州森林管理局から開催時期・開催場所、議題等が示

されました。また、③ヤクシカWGと特定鳥獣保護管理検討委員会の合同開催についても、事務局より前回の会議概要、生息状況、被害状況等の議題案が示され討議が行われました。

屋久島町からは、し尿搬出用山岳部モノレール計画の見直しについて、事業計画の見直しに至った経緯及び現在の状況、また今後の予定が説明されました。

今回の幹事会の討議内容を踏まえ、8月4日～5日に屋久島町で科学委員会及びヤクシカWGの開催が予定されています。

屋久島高校1年生「花之江河」登山の指導 (6月16日)

県立屋久島高等学校から7月8日(金)に計画されている「花之江河」への学校登山のマナー指導の依頼を受け、当保全センターの竹部専門官が対象となる1年生90名に事前指導を行いました。

学校登山は、毎年1年生を対象に郷土に伝わる「岳参り」の風習を体験し、自然環境や人との結びつきを考え環境保護に関する高揚を図ること、また、集団活動を通じて連携責任を養うことを目的として行われています。

今回の事前指導で、生徒らは登山上の注意点やマナー意識の向上と簡易トイレの利用方法が理解できたことにより、登山に向けた環境意識を高めることが出来ました。



パワーポイントの説明に集中！ 高校生

屋久島の森とシカ (第3回)

—高密度化したヤクシカは何を食べているか?—

矢原 徹一 (九州大学大学院 教授)

西部林道や矢筈岬など、ヤクシカが高密度化した場所に行くと、林床には餌植物がほとんど無いように見えます。このような場所で、ヤクシカは何を食べているのでしょうか。九州大学大学院博士課程の黒岩亜梨花さんは、駆除個体の胃内容物から DNA を抽出してその配列を決定し、植物種を判定しました。矢筈岬で駆除されたヤクシカ 22 個体が食べていた上位種をあげると、ヤブ (またはマルバ) ニッケイ・モクダチバナ・ヒメユズリハ・アコウ・タブノキ・マテバシイ・ヤブツバキ・コバンモチ・シラタマカズラ・ホウロクイチゴでした。常緑高木種が大半をしめています。これらの種の葉は、ヤクシカが食べられる高さにはほとんどありません。したがって、落ち葉や芽生え・萌芽を食べているものと判断されます。ただし、変色した落ち葉と緑色の葉を割りばしにはさんで林床にたてておくと、ヤクシカは後者を選んで食べます。屋久島では、雨や風によって常緑樹の新鮮な葉や枝が林床に落下することがしばしばありますので、おそらくこれらが重要な餌になっているのでしょう。一方で、矢筈岬で駆除されたヤクシカ個体の胃内容物からしばしばスギが検出されました。スギは矢筈岬には生育していないので、矢筈岬からときどき南側の山地に移動して採食しているものと考えられます。



写真 スギの若葉を食べるヤクシカ

ヤクシカは餌植物に好みがあります。しかし、不嗜好種であっても芽生え・若葉は好んで食べる場合があります。図は黒岩さんが胃内容物から検出した植物を、嗜好種 (赤)・不嗜好種 (緑)・不明種 (黄) に分類し、その割合を示しています。どの地域・季節でも、不嗜好種の芽生え・萌芽・若葉を一定の割合で食べており、これらが重要な食糧源になっていることがわかります。また、一見餌不足に見える矢筈岬などでも嗜好種を低密度地域と同じ割合で食べていることから、新鮮な落葉の利用や、より林床植生が残っている地域への移動採食によって食べやすい餌を得ていると考えられます。

黒岩さんは、駆除個体の腎臓を採取し、脂肪蓄積の程度を評価しました。その結果、腎脂肪指数はどの地域でも平均20% (良好な状態の下限値) を超えており、高密度集団でも栄養状態は良いことがわかりました。結論として、ヤクシカはまだ餌不足状態にはなく、駆除しなければさらに増えるものと予想されます。(つづく)

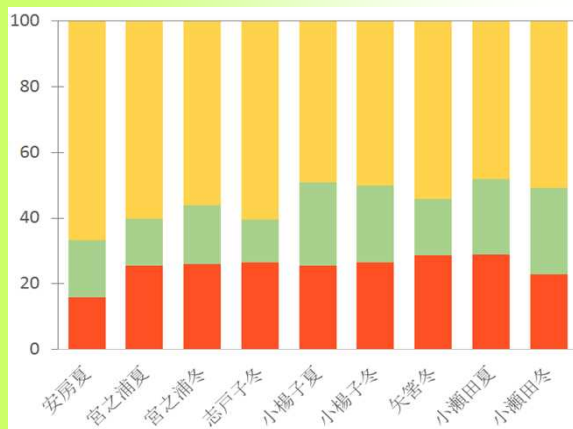


図 駆除個体の胃内容物中の嗜好種(赤)・不嗜好種(緑)・不明種(黄)の割合

屋久島の植物



シシンラン (イワタバコ科)

本州中部以南に分布し屋久島を南限とする高さ20mほどの常緑小低木。苔むした岩上や樹上に着生している。茎の先端に筒状の白い花をつける。ゴイシツバメシジミはこの花を食草とする。
花期6〜8月。

屋久島生態系モニタリング



屋久島南部等の植生垂直分布調査（平成25年度）

●標高 1600 ㍍プロット（烏帽子岳山頂直下）

[亜高木層] 山頂に近く風衝のため樹高は低い。アセビ、サツキ、ヤクシマシャクナゲ、シキミが多い。ヤクシマミツバツツジも混生。植被率は低い。

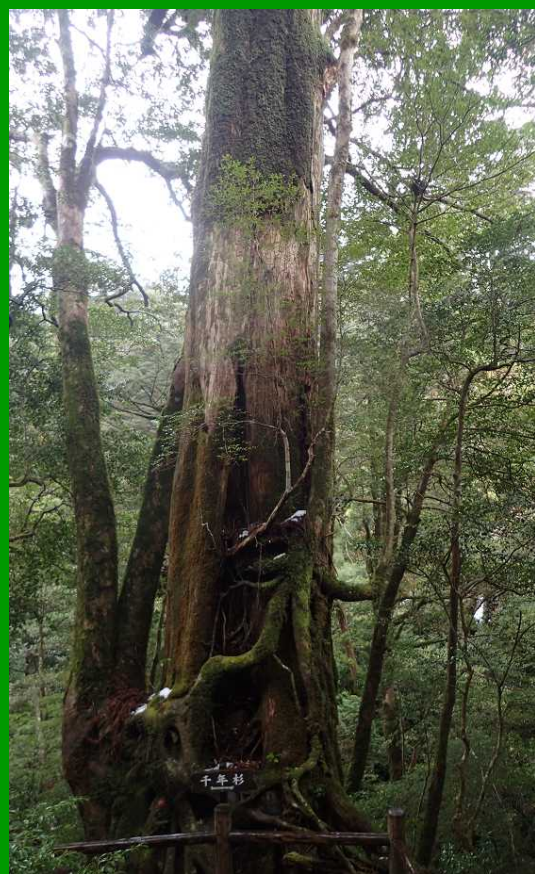
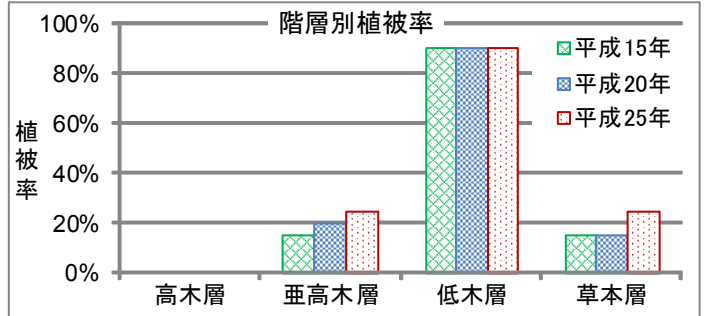
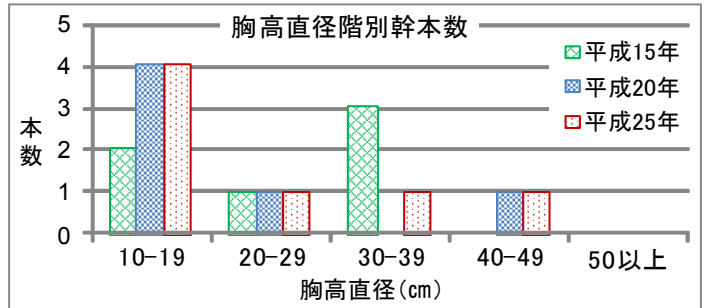
[低木層] ハイノキ、ヤクシマシャクナゲが多く、アセビ、ヤクシマホツツジ、サクラツツジ、ヒメヒサカキなどが混生。植被率は高く約 90%。

[草本層] アセビ、ヤクシマシャクナゲが多い。亜高木・低木層の稚樹が多い。またサルトリイバラ、ヒメカカラ、シキミ、ハイノキの他、アクシバモドキ、チャボシライトソウ、ヤクシマミツバツツジ、オオゴカヨウオウレンなどが生育。

[胸高直径階別幹本数] 平成 15 年度から本年度にかけて、多少の本数の変動はあったが、旧小プロット内での全体では殆ど変化がなかった。新規プロット（10×20 ㍍）。（旧プロット 7×20 ㍍）

[階層別植被率] 高木層はなく、亜高木層、低木層、草本層は平成 15 年度から 25 年度にかけて安定した植被率。ヤクシカの採食圧による影響は殆ど見られない。

[調査結果の概要] 烏帽子岳山頂付近の痩せ尾根、著しい風衝地で、矮性化したスギ亜高木が優占する針葉樹天然林。5 年前と比較すると、スギの上長成長が見られる。低木層には矮性化したヤクシマシャクナゲやアセビが多く、5 年前とそれほど変わっていない。ヤクシカによる採食圧の影響は殆ど見られない。



巨樹・著名木 屋久杉 千年杉

千年杉は、ヤクスギランド 30 分コースにあり、最も多くの観光客が最初に見る巨木です。

千年杉歩道の階段を下りた沢近くにあるので、階段からは樹木の全容（樹高 31.7 ㍍）がよく見え、若い屋久杉らしく成長がよいことが解ります。

また、根元から絡みついているヤマグルマも大きく千年杉の横でピースサインしているようです。

千年杉には、ヤマグルマ、サクラツツジ、シキミ、ヒカゲツツジ、ソヨゴ等が着生しています。



- 樹高：31.7 ㍍
- 胸高周囲：6.6 ㍍
- 樹齢：不明
- 標高：980 ㍍
- 場所：ヤクスギランド30分コース沿い

山の日
制定記念

感じてみよう
知ってみよう
友達になろう！
屋久島の森と・・・

屋久島の森林 2016

みどりの女神と
自然観察をしながら
登山をしませんか！



2016年度ミス日本
みどりの女神

平成28年8月21日（日）8時30分～16時30分

雨天決行（荒天中止）

場 所：白谷雲水峡（雨天の際はヤクスギランド）

申込締切
8月12日（金）

（集合の場所は屋久島町役場宮之浦支所）

参加者：親子（小学生と保護者）50名、一般30名 参加費：100円

（登山のできる服装で、弁当、帽子、雨具等持参）

主 催：林野庁

共 催：屋久島町、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

＜お申込・問い合わせ＞

屋久島森林生態系保全センター Tel 0997-42-0331

レク森協議会事務局 Tel 0997-42-3508（参加申込専用）